



大阪市立北恩加島小学校

所在地 大阪市大正区泉尾 5 丁目 17 番 31 号

電話番号 06-6551-0020

創立 大正 11 (1922) 年 7 月

ホームページ

<http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e581213>

校長 名 笹井 謙

標準服 有 エレベーター 有



校長メッセージ

北恩加島小学校では、子どもたちを大切にする教育の推進を掲げ、子どもたちが充実した学校生活を送れることをめざして教職員が一丸となって取り組んでいます。学校は、子どもたちが安心して過ごせる場、子どもたちがたくさんのことを経験できる場、そして何よりも子どもたちが活躍できる場です。北恩加島小学校の教職員は、北恩加島小学校のすべての子どもたちの担任であるという意識をもって教育活動をすすめています。

学校教育目標

心豊かで 助け合う たくましい子

【めざす子ども像】

《あかるく じぶんらしく げんきよく》

○ 自律し、行動できる子ども

＜元気よくあいさつできる子ども＞

＜自分の体に関心をもち、健康増進できる子ども＞

＜粘り強く最後までやりぬくことができる子ども＞

○ 自分を大切にすることができ、友だちを大切にすることができる子ども

＜友だちの意見をよく聞き、自分の意見をはっきり言うことができる子ども＞

＜自分がされたいいやなことは、友だちにはぜったいしない子ども＞

◆ 一人ひとりの子どもを大切にする教育の推進

(1) 子どもの人権の尊重を基盤とした教育活動

(2) 子どもの基本的生活習慣の確立

(3) 一人ひとりが活躍できる場の設定

主な学校行事

※令和8年度 年度当初計画

- 4月 入学式 始業式 入学おめでとう会
どうぞよろしく集会 すくすくウォッチ(5・6年)
全国学力学習状況調査(6年)
- 5月 家庭訪問 新体力テスト 遠足
- 6月 避難訓練・引き渡し訓練 水泳指導開始(～7月)
- 7月 林間学習(5年) きたおかまつり 個人懇談会
終業式
- 8月 始業式
- 9月 学習参観 避難訓練(台風)
- 10月 運動会 遠足
- 11月 創立記念日(11/10) 修学旅行
- 12月 学力経年調査 なわとび集会 終業式
- 1月 始業式 卒業遠足
- 2月 クラブ発表会 学習参観 個人懇談会
耐寒かけ足 感謝の会
- 3月 卒業を祝う会 卒業式 修了式

運営に関する計画 (令和8年度目標)

【安全・安心な教育の推進】

○小学校学力経年調査における児童質問紙「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を、81%以上にする。

○小学校学力経年調査における児童質問紙「自分には、良いところがあると思いますか」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における児童質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。

○小学校学力経年調査における児童質問紙「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88%以上にする。

○小学校学力経年調査における児童質問紙「規則正しい生活(「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻にねて、同じくらいの時刻に起きること」)が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 78%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○小学校学力経年調査における児童質問紙「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用するときに、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意したりしていますか」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87%以上にする。

○教員の時間外勤務時間について、月 80 時間以上実施する教員をゼロにする。

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果から

○平均正答率

	国語	算数
学校	58	44

平均正答率の三者比較（本校・大阪市・全国）では、国語・算数共に大阪市・全国を下回っているものの、学習に対する意欲はあり、学ぶことの大切さも多くの児童が感じている。年間を通して漢字学習や四則計算の基礎学習にも力を注いでおり、基礎学力の定着を大切に進めている。

【本校の取組】

本校では、令和2年度より3年間、国語科を研究教科として取り組み、漢字習得などの基礎学力の定着について一定の成果があげられた。そこで令和5年度より、これまでの基礎・基本となる言語活動の基盤の上に、児童が興味関心をもち主体的に考え、自分の思いや考えを伝える力を高めるICTを活用した授業づくりに取り組んでいる。

また、すべての教育活動の中で「できた・わかった・相手の役に立った」という自己有用感を育むようにしている。学力向上の取り組みの一環として、全校児童対象に本校独自に作成した「きたおか検定（漢字・算数）」を実施し、学年相当の基礎学力の定着を目指している。このような様々な取り組みの中で、一人ひとりの児童に自分の成長を自覚できるような活動を行っている。

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果から

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	20m シャトル ラン(回)	50m 走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ボール投げ (m)	体力 合計点
男子	15.59	22.13	37.91	38.36	45.5	9.23	150.4	23.38	53.39
女子	16.94	18.37	38.77	33.29	32.17	9.81	142.75	15	53.23

体力合計点は、全国平均との比較では、男子：+0.37 女子：-0.74 であった。「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問事項において、肯定的に回答した児童の割合は、全国平均・大阪市平均と本校児童の比較では、男子女子ともに低い結果となった。また、「1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合」に関して、全国平均や大阪市平均と本校平均との比較では、男子女子ともに割合が少ない結果であった。運動する習慣がある児童が多いが、それが体力合計点の結果に現れていない傾向があるため、学校での体力向上に向けた取組を行っていく必要があると考える。

【本校の取組】

「なわとび週間」「かけあし週間」を昨年度より継続して実施している。また、児童が運動に親しむことができるように作成したドッジボールコートで、多くの児童が休み時間や放課後に楽しく遊ぶ姿が年間を通して見られた。また、トップアスリートを招き「夢授業」も実施した。プロの選手との出会いなどで、運動があまり好きではなかった児童も運動の楽しさを味わう機会となり、自分にもできたという感動を語っていた。今後も児童の運動への興味関心を高められるよう、運動機会の充実に努めていきたい。

防災の取り組み

本校では、「警備および防災計画」、「津波避難計画」を策定し、年間3回の避難訓練（火災、台風、地震・津波）を実施しています。その中で地震・津波の避難訓練については、引き渡し訓練も行います。



特色ある取り組み

○基礎的な学習の確立に向けて

学習意欲を向上させ、学習理解を深め、自信へと繋げることを目指し、ICT機器を活用した授業研究に取り組めます。

○たてわり班活動（異学年交流）

毎週、異学年交流の場として、児童集会（ハッピー集会）を行っています。

特に今年度はきたおかまつりをたてわり活動で行うことで、高学年児童のリーダー性を養い、思いやりの心を育てています。

○多くの出前授業の招聘、地域の方をゲストティーチャーとした活動

地域の方には、2年の「町探検」や5年「町づくり」の講師としてお話をいただいています。

○感謝の気持ちを届ける地域の方々への感謝祭

日頃、登下校の見守りをしてくださっている「安全見守りサポート隊」の皆様や学習園を整備してくださっている「グリーンサポート隊」の皆様など、お世話になっている地域の方々を招待して感謝の会を開きます。

